

お知らせ

INFORMATION

No.2023-28

2023年8月

病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目を新たに受託開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。

本検査は、生活習慣を見直すきっかけとすることで、将来 MCI（軽度認知障害）や認知症に進行しないよう行動変容をしていただくための検査です。

健康診断等のオプションとしてご利用賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目】

◆ MCI スクリーニング検査プラス [38229]

…検査実施施設 (株) MCBI

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2023年9月25日（月）受付分より

MCI スクリーニング検査プラスとは

アルツハイマー型認知症（以下アルツハイマー病）発症の主な原因の一つといわれているアミロイド B（以下 AB）は老化や生活習慣の乱れにより脳内に蓄積されていきます。私たち人間の体には、脳内から AB を排除する仕組みが備わっています。しかし、生活習慣病などにより血管の老化が進み、血管の弾力性が失われることなどが原因で本来持つ AB の排除機能が低下し、脳内に蓄積するといわれています。その結果認知機能の低下を招き、アルツハイマー病につながると考えられています。

「MCI スクリーニング検査プラス」は、これらのアルツハイマー病の病態進行に関わるタンパク質を「栄養」「脂質代謝」「炎症・免疫」「凝固線溶」の4つのカテゴリーに分類して血中量を測定することで MCI（軽度認知障害）のリスクを統計学的に判定するものです。認知症の診断で行われる検査とは違い、もの忘れの自覚のない段階から、将来の認知症発症のリスクを評価できます。本検査は中年以降の方を対象に検査受診を推奨しており（推奨年齢：40代以降）、認知症予防のための早期発見・早期予防の手段として有用な検査です。

本検査を受診することで、MCI になるリスク（またはすでに MCI の可能性が高いか低いか）がわかります。検査結果が良好な方も、そうではない方も、自分の状況に合わせて生活習慣を見直すきっかけとすることで、将来 MCI や認知症に進行しないよう行動変容をしていただくための検査です。

【新規項目情報】

項目名称	MCI スクリーニング検査プラス
コード	38229
検体材料	EDTA-2Na 血漿 0.5mL（最低量）
保存安定性	絶凍（採血後 24 時間以内に遠心分離）
所要日数	15～23 日
実施料(区分)	未収載
備考	1) 本検査は、40 歳以上の方にお勧めしています。 2) すでに認知症と診断されている方は、検査できません。 3) 以下の方、または以下の疾患の治療薬を服用されている方については、検査結果の判定に影響する可能性があります。 ・自己免疫疾患をお持ちの方 ・急性炎症が認められる方 ・肝硬変の方 ・先天的に脂質異常の方
注意事項	年齢・性別を必ずご記入下さい。

※ 当該検査についての詳しいお問い合わせは、営業担当にお申し付けください。

【検査結果について】

算出された MCI リスク値 (0.00~2.00) をもとに A~D の 4 段階で評価いたします。4 つのカテゴリーの評価は良好、注意、要注意の 3 段階で評価いたします。



レポートイメージ

【検査結果報告書について】

各患者様宛のクリアファイルに A4 両面 2 枚の検査結果報告書と認知症予防マニュアルの冊子を封入してお届けいたします。

検査結果報告書表紙の QR コードから認知症予防習慣 WEB サイトを確認することができます。



クリアファイル



検査結果報告書



認知症予防マニュアル

以上